

つくしんぼ No.5

つくしこども園



8月のテーマ

たのしい夏

保育の目標

夏のあそびを十分に経験し

健康で安全な夏を過ごす

子どもの様子

暑い日はプールあそびが一番！

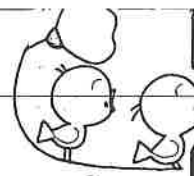
今年も、強烈な太陽の季節に入りました。暑い日は、朝の集会在終わると、クラス別の時間割に従って、子ども達の大好きなプール遊びを楽しんでいます。今年も、コロナ禍のために、例年と異なり、4～5歳児も、水慣れ主体の「プールあそび」に変更して実施しています。

暑い夏は短いです。ご家庭でも、親子でたのしく、夏にしかできない体験を沢山して、元気に過ごしましょう。

☆ シャワー、プールあそびを通して、毎日の衣服の着脱が上手になってきました。例年、プール用品の始末も、時々取違いはありますが、年齢相応に上手に片付けられるようになってきます。特に3歳未満児クラスの子は、オムツが取れるよい機会でもありますので、ご家庭と園の連携で、オムツから、パンツへ切り替えさせてあげましょう。



保健衛生 夏風邪にご用心！



◇ 今年も、空梅雨だったのででしょうか、連日暑い日が続いています。熱中症の心配も出ています。例年、多数の死者や重症者が出ている怖い病気です。また、熱帯夜で寝苦しい日もあり、冷房等で風邪をひいたり、冷たい物を飲みすぎたり、食べすぎてお腹をこわしたりと、体調を崩しやすい季節でもあります。

例年この時期は、急に高熱が出る、ヘルパンギーナ・プール熱・手足口病、流行性耳下腺炎等の病気が感染しますので、ご用心ください。

◇ コロナ対応として、37.5℃以上発熱の場合は、24時間の休息が必要です。

◇ 高熱の風邪の場合は「熱が下がったから・・・」といって、翌日早速登園して、また発熱。そして長期欠席・・・というケースが多くあります。また、高熱が続く場合は、肺炎になる心配もあり、悪化すると、死に至る事もありますので、安易に考えずにお子さんの体を、大事にしてあげてください。お子様の健康回復のために、解熱後もう1日休ませて、完治させてあげましょう。けて、暑い夏を乗り越えましょう。



◇ 3～5歳児は、冷たいお水の、水筒持参ご協力をして戴き、熱中症予防に努めております。ご協力ありがとうございます。

◇ あせも・とびひ・水いぼ等、皮膚疾患の流行期です。虫さされすり傷などから「とびひ」になったり、あせもからも「とびひ」になったりもします。気をつけましょう。
・新陳代謝の著しい子ども達です。1日の締めくくりとして、お風呂等で体をきれいに洗ってあげてください。

◇ 食べ物が腐敗しやすい季節です。O-157やノロウイルスも多く発生しています。食事前、あそび後、外出後には石けんを使って丁寧に手洗いをする事を徹底して、予防に努めて下さい。



“こわーい食中毒にご注意ください！”

◇ 「熱中症」にご注意を！

熱中症とは、熱さによって、体温の調節がうまくいかずに起こる目まいや頭痛、ひきつけ、意識障害などの様々な症状のことです。

- ★ 小まめに水分補給をする等、予防に努めてください。
- ★ 夏に、パテや熱中症にならないように、各ご家庭で健康管理をしっかりいたしましょう！



お知らせ&おねがい

- 今年も、暑い夏と言われており、梅雨明け前から30度を超える真夏日が、続いております。これからも、猛暑日や熱帯夜もあつたりして、寝苦しくて十分な睡眠が取れずに、疲労が蓄積します。そんな時こそ、小さなお子さんは、規則正しい生活を送らせ、早寝、早起きで、睡眠時間(10時間)を十分にとらせて、食事は1日3回しっかり食べさせるように、心がけましょう！
- ☆ 夏バテや熱中症にならないように、各ご家庭でも健康管理をしっかりいたしましょう！

○ 「3～5歳児は、自分で用具の持ち帰りを！」

こども園では、毎日の登降園時には、[おたよりカバン・通園カバン・プールカバン]等、「自分の持ち物は、自分で持ち帰りをする」事を、約束しています。

でも、例年、お迎えの方に引き渡し後は、甘えん坊の王子様、お姫様に急変して、自分で出来る事もしないで、お迎えの方に、カバン等を持たせて帰る子を見受けます。

もう、どの子も成長しましたので、必要以上に手を掛けしないで「自分でできる事は、自分でする」事の徹底を図りましょう。

意義

- ◎ 自分の持ち物を知り、物を大切にする。(忘れ物・落とし物・間違いがなくなる)
- ◎ 登降園することの自覚・意識の確立
- ◎ 発達段階からは、十分に身の回りの始末ができる年齢

「お子さんのため・・・」を第一に考えるならば、園と足並みを揃えた教育・保育を、ご一緒をお願いいたします。